

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月/日

団体名 公益社団法人 愛知県柔道整復師会 岡崎支部 豊岡会

代表者 黒瀬 広幸

構成員 23 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は会員相互の親睦を図り、会員個人の資質の向上と学術的研究を進め、社会福祉の貢献を目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
6月30日～5月 7月14日まで 日曜日3日間	中総体育館 運動場 籠球場 柔道場	中学校生徒	500	スポーツ大会の負傷者の応急 処置救護活動
11月17日	岡崎市内 一園	一般参加者	2500	岡崎マラソン中継所の負傷者 処置の対応
12月8日	中総体育館	一般参加者	200	学区ミニバドミントン大会 の負傷者応急処置
1月19日	岡崎市内 一園	一般参加者	1800	岡崎市民駅伝の中継所 の応急処置

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

大会の負傷者に対して応急処置、フェードアウト・配布など施術を行なった

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

大会の負傷者に対して応急処置を相当の事により、主催者は大会進行に
専念でき、参加者の安心に競技をおこなう事が出来た。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。